

生まれ育った地元に
貢献したい。



地元就職
PROFILE
鮫川器機(株)
製造課 勤続9ヶ月
近藤 颯斗さん
白河市出身。郡山市内の大学を経て、
鮫川器機(株)に入社。

14 レンズ製造は五感を使う職人技。 丁寧な作業で技術を磨く。

Time Table 近藤さんの平日スケジュール

- 6:30 起床
- 7:10 自宅出発
- 7:45 会社到着
- 8:00 午前の業務開始
・レンズ製造の準備
・レンズ製造
- 12:00 昼休憩、食堂で昼食
- 12:45 午後の業務開始
・レンズ製造
- 18:00 帰宅
- 20:00 趣味の時間
- 23:30 就寝

■ 会社を選んだ理由

生まれも育ちも白河市で、地域に愛着があり、地元での地域貢献がしたいと考えて県内就職を決めました。また、子どもの頃からものづくりに興味があり、人の役に立つものを作りたいと考えていました。県内の製造業を探している中で鮫川器機(株)を見つけ、レンズの製造という仕事に興味を持ち、説明会に足を運びました。工場見学で、普段の生活で目にしているレンズが造られていく工程を見て、自分もやってみたいと感じて応募を決め、最終的には、工場長の人柄の良さに惹かれて、この人の元で働きたいと思ったことが決め手でした。

■ 就職活動で大変だったこと

自分の本当にやりたい職業を見つけ出すことが大変でした。大学では情報工学を専攻していて、一時期はIT関連の職を目指すか、ものづくりの職を目指すか悩んでいました。後悔しない選択をするためには、自分とじっくり向き合う時間を取ることが大事だと思います。就職活動は人生の中でも大きな選択の場面だと思うので、絶対にここだ!と思える選択が出来て良かったです。



休日は、友人とラーメン店巡り。いろいろな店の味を食べ比べるのも楽しい。

白河といえば
ラーメン!



■ 仕事に対するやりがい

鮫川器機(株)の主力製品であるレンズは、原料のガラスを機械で削って作られます。私は「研磨」という重要な工程を担当しており、レンズを機械で磨き、規格内の精度を出す作業を行っています。レンズと一口に言っても、テレビカメラ用や医療機器用など種類が沢山あって、大きさや硬さがそれぞれ違うので、削る量や研磨剤の濃度もそれぞれ違います。試行錯誤を重ね、規格内に収めることができた時にやりがいを感じます。



■ 休日の過ごし方

しらかわ地方はなんといってもラーメンの美味しいお店が沢山あるので、よく友達と一緒にラーメン店を巡っています。白河市の表郷にある「たいち手打中華」が今の気に入りです。

■ しらかわ地方のここが好き!

地元の白河市には、小峰城や、日本最古の公園とされている南湖公園など、歴史ある観光名所が多くあります。白河市で育った人は学校の授業で地元の歴史を習ったり、遠足に行ったりと慣れ親しんでいるので、地元で愛着を持っている人が多いと思います。

■ 就職活動のススメ

就職活動は自分を見つめ直す良い機会だと思います。視野を広く持ち、自分の納得のいく選択を見つけてください。企業に興味を持ったら、機会があればインターシップに行って、実際の職場で仕事を体験した上で選ぶというのも大切だと思います。一日限りの説明会や見学よりも、職場の内情がよく分かります。

■ これからの目標

与えられたものを今まで通りやるのではなく、無駄な時間の見直しを行い、作業効率を上げるために創意工夫をすることです。レンズの研磨は、自分の五感を生かして身に付けていくもので、一人前になるのに10年かかると言われています。今は先輩に助けて頂くことも多いですが、着実に技術を身に付けていきたいです。

会社概要

鮫川器機株式会社

住所 〒963-8405 鮫川村大字渡瀬字中野町204
 電話 0247-48-2016
 創業 昭和48年10月
 資本金 10百万円
 代表者 代表取締役社長 神長 裕夫
 社員数 64名
 事業内容 光学機器製造業



採用予定 高卒・大卒

就業体験 インターンシップなし